

# 集団窃盗事件の鞆を公開

## 特殊な細工でEASの検知を逃れる構造

### 日本万引防止システム協会（JEAS）

日本万引システム協会（東京都新宿区、稲本義範会長、Tel 03・33355・2332）、以下、JEAS）は、小売店で問題化している集団窃盗事件で、東南アジア人と見られる犯人が犯行で使用した鞆を公開。この鞆には、防犯センサーゲート（EAS）の検知を逃れた

ための特殊な細工が施されており、JEASでは関係各方面に注意喚起を行った。JEASでは具体的な万引き対策として、プライバシー保護の観点などを考慮しながら

近年、短時間で大量の商品が盗難される集団窃盗事件が多数発生しており、小売業にとって大きな問題となっている。今回JEASが公開した窃盗鞆は、昨年末から

件で、東南アジア人と思われる窃盗犯が現場に放棄したもの。グッチの柄に似た茶色系のナイロン製トートバッグのサイズは、縦45cm×横41cm×幅20cm

で、表面にブランド「4℃」の金プレートが装着されている。生地の内側には電場シールド材（アルミ箔）が二重に縫い込まれている。これにより、EASを通過する際に電波が遮断され、検知を逃れる構造となっている。黒一色のコーティング紙製の鞆もあり、サイズは縦43cm×横35cm×幅15cm。何れの鞆も開口部はマジックテープで完全に蓋ができて、商



窃盗鞆の実物を紹介

品を入れれば手で挟み込んで、閉じられる構造となっており。この鞆は、昨年関東エリアで発生した事件で、窃盗犯が所持した鞆と同一のものであり、犯人グループが日本の複数エリアで窃盗を繰り返している証拠と見られている。

JEASが公開した窃盗鞆について、全国万引犯罪防止機構の光眞章事務局長代行（元警視庁刑事部捜査第一課長＝写真）は、昨年の暮れから関西、関東で窃盗鞆が放置され、犯人が逃走する事犯が連続して発生していることを紹介した上で、「窃盗用に彼らが特別に製造した大量のものを盗むため、経営的なダメージが大きい。このことを福島県警

では、爆盗と表現しています。最近このような犯行が、非常に多くなっています。犯人グループについては、目撃、或いは防犯カメラの映像から、東南アジア系のグループと推定している。このような犯罪が、非常に増えている」と語り、小売業など関係各方面に注意を促した。